

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本航空医療学会雑誌	自衛隊ヘリコプター機内での医療の安全性に関する一考察～除細動に関する実験から	中村宏治、久木田一朗、他	救急医学
J eHealth Technology and Application	Is the telemedicine system effectively working in Okinawa?	Ichiro Kukita ¹ , Kouji Nakamura ¹ , etc	救急医学
日本遠隔医療学会雑誌	沖縄県離島・へき地診療所における遠隔医療の実態と医師の遠隔医療への印象—アンケート調査から—	中村宏治、野崎浩司、久木田一朗、他	救急医学
日本手術医学会誌	手術関連のインシデントに対する対策の達成度とその課題	久田友治	手術部
感染症診療ゴールデンハンドブック	手術部位感染	久田友治	手術部
ICUとCCU	超音波ガイド下鎖骨下静脈穿刺のためのシュミレーターの開発	徳嶺讓芳	集中治療部
日本集中治療医学会雑誌	超音波ガイド下に末梢側大腿静脈ラインを確保した一例	徳嶺讓芳	集中治療部
日本高気圧環境・潜水医学会 42(3):192.2007	脊髄麻痺を来した脊椎・脊髄疾患に対する高気圧酸素療法～78例20年の経験から～	井上治	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会 42(3):186.2007	遅発性放射線障害に対する高気圧酸素療法	井上治	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会 42(3):222.2007	網膜中心静脈閉塞症に対する高気圧酸素療法	井上治	高気圧治療部
透析会誌 40:1～30, 2007	わが国の慢性透析療法の現況 (2005年12月31日現在)	井関邦敏 他	血液浄化療法部
透析会誌 22: 305-310, 2007	糖尿病による透析導入をアウトカムとする臨床疫学的研究	井関邦敏	血液浄化療法部
Hypertens Res 30: 55-62, 2007	Changes in demographics and the prevalence of chronic kidney disease in Okinawa, Japan (1993 to 2003)	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Hypertens Res 30: 167-174, 2007	Risk of developing low GFR or elevated serum creatinine in a screened cohort in Okinawa, Japan	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Ther Ape and Dialysis 11: 183-188, 2007	Prevalence and Determinants of Hypertension in Chronic Hemodialysis Patients in Japan	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Nephrology Frontier 6: 82-83, 2007	Reverse epidemiology in chronic hemodialysis patients	Iseki K	血液浄化療法部
Clin Exp Nephrol 11:41-50, 2007	Estimation of Glomerular Filtration Rate by the MDRD Equation Modified for Japanese Patients with Chronic Kidney Disease	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Hypertens Res 752-753, 2007	The contribution of nutrition to the effect of the protective value of high plasma Aldosterone concentrations in hemodialysis patients	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Clin Exp Nephrol 11: 156-163, 2007	Prevalence of chronic kidney disease (CKD) in Japanese general population predicted by MDRD equation modified by a Japanese	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Hypertens Res 30: 752-754, 2007	The contribution of nutrition to the protective value of high plasma Aldosterone concentration in hemodialysis patients	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Hypertens Res 30: 937-943, 2007	Metabolic syndrome and risk of developing chronic kidney disease in Japanese adults	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Suppl 107: S4-S9, 2007	Anemia as a risk factor for CKD. Kidney Int 72	Iseki K, Kohagura K	血液浄化療法部
Circulation J 71: 1755-1760, 2007	Higher heart rate predicts the risk of developing hypertension in a normotensive screened cohort	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Biochemical and Biophysical Research Communications 364: 937-944, 2007	Downregulation of citrn, a mitochondrial AGC, is associated with apoptosis of hepatocytes	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Ther Ape and Dialysis 11: 411-414, 2007	Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2005)	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Am J Kidney Dis 50: 927-937, 2007	Modification of the Modification of Diet in Renal Disease (MDRD) Study equation in	Iseki K, etc	血液浄化療法部
Clin J Am Soc Nephrol 2: 1360-1366, 2007	Kidney disease screening program in Japan, Outcome and Perspectives	Iseki K, etc	血液浄化療法部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
「慢性腎臓病患者の循環器合併症」長谷弘記編, 26-33, 東京, 中外医学社, 2007	慢性腎臓病患者および慢性腎臓病を原因とする循環器合併症の疫学	井関邦敏	血液浄化療法部
ガイドラインサポートハンドブック: 慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常(CKD-MBD)。深川雅史編, 33-37, 大阪, 医薬ジャーナル	ガイドラインの基礎となるエビデンスの検証と格付け	井関邦敏	血液浄化療法部
慢性腎臓病(CKD)診療ガイド。日本腎臓学会編 2007/06/0	CKDの疫学	井関邦敏(共同執筆)	血液浄化療法部
看護のための最新医学講座第6巻 腎疾患と高血圧。佐々木成編, 371-377, 東京中山書店, 2007	慢性腎臓病とは	井関邦敏	血液浄化療法部
EBM透析療法2008-2009, 深川雅史, 秋澤忠男編, 23-26, 東京, 中外医学社, 2007	日本の透析患者の特徴	井関邦敏	血液浄化療法部
「透析患者の検査値の読み方」深川雅史, 山田明, 秋澤忠男, 鈴木正司編集。黒川清監修改訂第2版, 20-21, 東京, 日本メディカルセンター, 2007	透析患者の基準値(目標値)はどのようにして決まるのか	井関邦敏	血液浄化療法部
腎不全治療マニュアル。腎不全予防医学調査研究会編, 32-37, 東京, (社)日本透析医	3. 一次・二次・三次対策	井関邦敏	血液浄化療法部
「これだけは知っておきたい: 透析ナーシングQ&A」富野康日己編集, 22-23, 東京, 総合医学社, 2007	Q10. シングルニードル法とはどのような方法ですか?	井関邦敏, 永吉奈央子	血液浄化療法部
「これだけは知っておきたい: 透析ナーシングQ&A」富野康日己編集, 24-26, 東京, 総合医学社, 2007	Q11. 除水の陰圧制御, 陽圧制御とはどのようなことですか?	井関邦敏, 永吉奈央子	血液浄化療法部
「これだけは知っておきたい: 透析ナーシングQ&A」富野康日己編集, 26-27, 東京, 総合医学社, 2007	Q12. ダイアライザーとは何ですか? どのような構造をしているのですか?	井関邦敏, 永吉奈央子	血液浄化療法部
透析患者の心血管系合併症と対策(改訂第2版)。浅野泰編, 115-124, 東京, 2007	高血圧-降圧薬の使用上の注意も含めて	井関邦敏	血液浄化療法部
日内誌 96 (5):9-14, 2007	II疫学。特集「慢性腎臓病: 診断と治療の進歩」	井関邦敏	血液浄化療法部
Oncol Rep,	Expression levels of heat shock protein 20 decrease in parallel with tuomr progression in patients with hepatocellular carcinoma.	Noda. T	病理部
臨床病理	陳旧性日本住血吸虫卵が見られた穿孔性虫垂炎の一例.	松崎晶子	病理部

計 197 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 須加原 一 博
管理担当者氏名	総務課長 川口幸一, 医学部事務長 宮里昇二, 医療支援課長 柴山昌則 薬剤部長 宇野司, 放射線部長 村山貞之, 看護部長 川満幸子

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録				
病院日誌		病院総務課	診療録は入院、外来別に1患者 1ファイル方式で中央管理している。 エックス線写真はデジタル化後、放射線部サーバーで保管管理し、出力画像は各診療科保存としている。 各科診療日誌、看護記録は院内情報システム上で共有し、一定期間づつプリントアウトしてファイリングしている	
各科診療日誌・看護記録		看護部		
検査所見記録・紹介状・退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療支援課 (診療録に貼付)		
入院診療計画書				
手術記録		手術部		
エックス線写真		放射線部		
処方せん		各診療科 薬剤部		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院総務課	/	
	高度の医療の提供の実績	医療支援課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部事務部 各診療科		
	高度の医療の研修の実績	病院総務課		
	閲覧実績	病院総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課 薬剤部		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療支援課 薬剤部		
	規則第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	安全管理対策室に専任のどけい配置		
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室にICNを配置
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		安全管理対策室
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の設置		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理対策室を中心に整備、指針を決定し、リスクマネジメントマニュアルに明記して全部署へ配布・周知		
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理委員会を毎月、どけい連絡会議を毎月開催		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	全職員対象に計6回実施、非常勤等にもGRMが出前研修として安全に関する研修を実施している。		
	医療機関内の事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理対策室が中心となり、患者相談窓口の設置、携帯端末の導入、リスクマネジメントの改訂。インシデントに伴う改善策を立案・整備・実施状況評価		

(様式第 12)

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第 1 条の 11 各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室を中心に整備、感染対策委員会で指針を決定し、感染対策マニュアルに明記し全部署に配布・周知した。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会を8毎月、感染対策実務者会議を1回/2ヶ月開催、感染リンクナース委員会を毎月開催している。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	全職員を対象に計4回実施。その他部署別研修として清掃業務担当者、給食担当者への研修会を実施している。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室が中心となり、耐性菌分離状況の作成と委員会・会議等での報告。感染対策マニュアルの改訂。院内感染事例に伴う改善策の整備と周知。ICT (感染対策チーム) ラウンドによる感染対策の確認と指導。
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部長を責任者に配置。
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回開催することとしている。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理専門委員会の元、医薬品安全管理手順書を作成し、各部署に配付し、責任者が

	業務実施状況を確認している。
医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部にて情報収集・整備し、広報すべき情報は、オーダーシステムを通じて告知している。
医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	病院長が委嘱した医療機器安全管理責任者を配置している。
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年23回開催している。
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理専門委員会において点検計画を策定し、保守点検を実施。
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	厚生労働省等の各機関から情報を収集し、掲示板への掲示、各部署への周知徹底を実施。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 須加原 一 博
閲覧担当者氏名	総務課長 川口 幸一
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 2階 小会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.0 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		7,805人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,039人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		784人
	D: 初診の患者の数		14,136人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。